

令和4年度 舞鶴工業高等専門学校外部評価委員会

本校の外部評価委員会は、令和4年度より実施方法を改め、本校の自己点検を外部有識者に評価していただくことを目的として実施することになった。

本校の自己点検は認証評価の基準に合わせて実施しており、自己点検における基準1～10を外部評価の観点①～⑥として次のように整理した。

外部評価の観点	自己点検における対応する基準	担当部署	外部評価実施年度	評価
① 3つのポリシー、教育学アセスメント	1 教育の内部質保証システム	評価委員会 教務委員会 専攻科委員会		
② 学習環境及び学生支援、修学支援、学寮運営	2 教育組織及び教員・教育支援者等について 3 学習環境及び学生支援の整備等について	学生委員会 学寮委員会 教務委員会		
③ 教育活動の状況	5 準学士課程の教育課程・教育方法について 7 準学士課程の学習・教育の成果について	教務委員会		
④ 入試の状況	6 準学士課程及び専攻科課程の学生の受入れについて	入試委員会	R4	
⑤ 専攻科の教育・研究活動の状況	8 専攻科課程の教育活動の状況について 9 研究活動の状況について	専攻科委員会		
⑥ 地域貢献活動等の状況について	10 地域貢献活動等の状況について	地域共同テクノセンター	R4	
	(4 財務基盤及び管理運営について)			

毎年、外部評価の観点から選択して外部評価を実施し、数年ですべての観点の評価を実施する計画となっている。

令和4年度の外部評価委員会は、当初、令和5年1月26日に対面実施を計画していたが、大雪のため延期となり、以下のように実施した。

1. 日 時 : 令和5年3月23日(木) 10:00-12:00

2. 場 所 : オンライン開催 (Teams) 学内者/舞鶴工業高等専門学校 大会議室

3. 出席者 : 外部評価委員会委員

長岡技術科学大学	学長	鎌土 重晴 様
和歌山工業高等専門学校	校長	北風 幸一 様
(株)日進製作所	人事部長	室田 真司 様
舞鶴市中学校長会	会長	秋原 栄人 様
舞鶴市政策推進部長	部長	有吉 央頭 様
京都新聞北部総局舞鶴支局	支局長	高橋 晴久 様
舞鶴工業高等専門学校後援会	会長	松井 恵子 様

学内出席者

内海校長、奥村評価委員長、川田教務主事、片山学生主事、
豊田寮務主事補(寮務主事代理)、加登専攻科長、藤田人文科学部門長、
上杉自然科学部門長、西山機械工学科長、内海電気情報工学科長、
野間電子制御工学科長、尾上建設システム工学科長、宝利資料部会長、
佐良事務部長、増永総務課長、下元学生課長

4. 校長冒頭挨拶

議事に先立ち、内海校長から挨拶があった。

5. 委員の紹介

奥村評価委員長から、外部評価委員の紹介及び議題の説明があった。

6. 委員長選出

本校外部評価委員会規程第5条に基づき、委員の互選により鎌土委員が委員長に選出された。

7. 議事進行

(1) 高専の概要について [発表者 校長 内海康雄]

(2) 検討課題の状況及び舞鶴高専の自己点検について [発表者 評価委員会委員長 奥村昌司]

(3) 外部評価[1] (④ 入試状況について) [発表者 教務主事 川田昌克]

(4) 外部評価[2] (⑥ 地域貢献活動について) [発表者 教務副主事 加登文学]

発表と質疑応答ののちに、次のような評価シートによって、観点「④ 入試の状況」と「⑥ 地域貢献活動等の状況について」について、外部有識者に評価いただいた。

舞鶴工業高等専門学校外部評価委員会 評価シート

評価者名： _____

<対象年度：令和4年度>

観点	評点	コメント
④ 入試の状況		
⑥ 地域貢献活動等の状況について		

【評点】

- 4：十分に実施されている。
- 3：実施されている。
- 2：実施がやや不十分である。
- 1：実施が不十分であり、改善が望まれる。

(次ページ, 評価のまとめ)

評価のまとめ

観 点	評 点		コ メ ン ト
④入試の状況	委員 A	4	<p>・高専向けの尖った学生の確保に向けた優れた入試を行っている。今後、これからの入試の結果を解析し、広報活動を充実させ、入試方法の開発と志願者増となることを期待したい。</p> <p>・コロナ禍の中で大変精力的に中学校等にアプローチされていると思います。学力以外の基準で入学した学生の入学後の動向をしっかりとリサーチして、その後の対応に活用されるとよいと思います。</p> <p>・少子化の中、①取り組みがどのような結果を出すか注視していただきたい。②一定学力以上の学生を確保する為、定員減は考えられないでしょうか？(教員が減っている(なり手が無い)状況も加味し)</p> <p>・前回からの検討課題をもとに丁寧に対応されている。中学生だけでなく、中学校の教職員にも早い段階から PR することで、志願数も伸ばせると考えている。(中丹管外の職員が多い)</p> <p>・エビデンスに基づいて様々な工夫をされていることは評価。</p> <p>・議論にもあったように中3生に対するアプローチより、中1生や中2生に対するアプローチが肝要と思われる。</p> <p>・個人的な感覚で申し上げると貴校から中学校長会を通じて市内各中学校へアプローチするよりは、舞鶴市教育委員会から中学校長会経由で市内各中学校へアプローチし、貴校を卒業した後、どのような職業に就けるかなど具体的な説明を行った方が子どもたちに貴校の素晴らしさが伝わる様な気がする。</p> <p>・中学校において授業を行うのも良いが、子どもたちに対して具体的な将来像を示した方が選択肢を立てやすい様な気がする(この職業に就くためには、このような学びが必要等)。</p> <p>・少子化に加え、近隣に新たな高専が誕生することを踏まえ、さらに工夫を重ねていただきたい。</p> <p>・少子化、私学助成、他高専設立など入学者獲得に厳しい状況下で地域創生型特別選抜は舞鶴高専らしさの表れる募集方法だと感じました。受験前から舞鶴市を知ろうとするきっかけになりますし、「自分ならこうしたい」と思える、自主性の芽生えにもなると思います。また、卒業生のその後を追ったチラシは、卒業された先輩方のコメントやお仕事内容が知れて、学生が自分の将来を考える時の良い材料になりますし、受験を考える中学生や、将来に悩む在学生、保護者にも手にとって是非見てもらいたいチラシだな、と思いました。</p>
	委員 B	4	
	委員 C	3	
	委員 D	3	
	委員 E	3	
	委員 F	3	
	委員 G	3	
	総点	23	
⑥地域貢献活動等の状況について	委員 A	4	<p>・小中学生及び企業向けの多くの活動を実施している。それらの連携を通じて学生への社会教育、さらには教育研究開発へと展開されている。そのような成果の増に向けた、地域共同テクノセンターを通じた活発化を期待したい。</p> <p>・大変充実した取り組みを実施されていると思います。一方的に与えるものにするのではなく、学生の教育研究や教員の研究にも資するようなものとするよう工夫されるとよりよいと思います。</p> <p>・引き続き幅広く活動をお願いしたい。</p> <p>・公開講座についてより多くの方が参加していただけるよう PR 方法等検討いただきたい。</p> <p>・地域貢献を学校の使命として位置付けされているのが大きい。学校が地域のホームグラウンドとしてあらゆる分野の核となってもらいたいことを期待している。</p> <p>・貴校からの説明にもあったように、①まちづくりに関する取り組みとして、舞鶴市、貴校、KDDI との包括連携協定締結や舞鶴市居住促進住宅(UIH)、②人材育成に関する取り組みとし</p>
	委員 B	4	
	委員 C	3	
	委員 D	3	
	委員 E	4	
	委員 F	4	
	委員 G	4	
	総点	26	

		<p>て、子どもたちを対象としたプログラミング教室の開催や地域から未来の理工系女子を生み出すための子どもを対象とした実験教室の開催、デザコン 2023 の誘致、③土木・建築に関する取り組みとして、橋梁長寿命化修繕計画実施における課題検討・調査研究、土木建築フォーラムの開催など地域貢献・活性化に寄与する取り組みに全面的に取り組んでいただいていることにただただ感謝。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な分野で活動されている。今後も地域のニーズに合わせて取り組みを進めていただきたい。 ・いろいろな取り組みをされていることは、これまでから存じておりましたが、改めて、今回資料を拝見することで素晴らしい取り組みに驚きました。中でも、学生防災士の活動は資格取得で自分の学びになり、その後に地域貢献に直結する良い取り組みだと思います。教員、学生の持つ専門的な知識が、舞鶴市の発展に発揮され、また、舞鶴市の悩みや問題点が教員、学生の学びとなり、舞鶴市と舞鶴高専が共に発展していく関係づくりは今後も継続いただきたいです。また、このような素晴らしい活動をしているということをもっと多くの学生、保護者に発信していただきたいです。
--	--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<自由記述>

- ・滋賀の公立高専はある意味脅威に感じます。17%（100人程度でしょうか）が滋賀県、又京都南部からの学生もいると、多くの学生が流れる気がします。
- ・丁寧な資料作成と説明ありがとうございました。コロナ禍もあり、普通科志向が続いていますが、是非高専の魅力を地域に発信していただき、地域部活動も含めて、ホームグラウンドとなってもらいようお願いいたします。
- ・まちの持続可能性を追求していくためには貴校との連携が不可欠なところ、引き続きご協力を賜ります様、何卒よろしくお願い申し上げます。
- ・我が子が「舞鶴高専に行きたい」と言うまで舞鶴市に足を踏み入れたこともありませんでした。数年後、野洲に高専設立予定とのこと。滋賀に住む親として、子どもの進学タイミングで野洲の選択肢があったなら、舞鶴高専を知らない私なら、「野洲なら通学できる」と舞鶴行きを反対したかもしれません。中学校卒業後の幼さが残る子どもが親元を離れる心配は今でも思い出します。しかし5年間の寮生活を経て、身の回りのことができるようになっていく姿や、自身のこと、周りのことに対する考え方など、成長した部分を感じると舞鶴高専で良かった、寮生活をさせて良かったと思います。舞鶴高専には長い歴史があり、地域や企業との連携体制も、学校関係者の皆様の努力で整ってきていて、また多くの学生を受け入れ可能な寮も整っていて、それら全て大きな強みです。他の高専にはない良さ、強みをどんどん発信して欲しいと思います。舞鶴高専の今後ますますの発展を願っています。